

東京カンテイ マンションデータ白書 2012【速報値版】発表

首都圏新築マンションは前年比+1.5%の46,168戸 近畿圏17,900戸で+21.0% 中部圏-6.8%
 全国合計は87,023戸 東北、北関東、近畿圏、九州で増加し、前年比9.2%増加

全国都道府県別 新築マンション分譲戸数推移

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2012年 前年比
北海道	2,698	1,677	1,320	1,782	1,700	95.4%
青森県	175	109	10		55	—
岩手県	512	133	170		203	—
宮城県	1,561	1,088	277	482	1,109	230.1%
秋田県	65	50	72			—
山形県	244	59	72	44	63	143.2%
福島県	336	115	123	28		—
東北	2,893	1,554	724	554	1,430	258.1%
茨城県	2,413	679	60	106	600	566.0%
栃木県	400	563	95	59	191	323.7%
群馬県	798	139	112		130	—
北関東	3,611	1,381	267	165	921	558.2%
埼玉県	4,871	3,601	5,281	3,953	3,785	95.8%
千葉県	5,598	3,160	3,478	2,708	2,887	106.6%
東京都	25,617	23,340	27,977	27,705	28,925	104.4%
神奈川県	12,037	7,958	10,607	11,113	10,571	95.1%
首都圏	48,123	38,059	47,343	45,479	46,168	101.5%
新潟県	982	493	156	58	146	251.7%
富山県	148	105	41	126		—
石川県	473	35	39	92	144	156.5%
福井県	102	206	75		46	—
山梨県	92	94	100			—
長野県	986	248	80	140	178	127.1%
北陸・中部	2,783	1,181	491	416	514	123.6%
岐阜県	344	210	15	370	142	38.4%
静岡県	1,517	928	626	869	1,199	138.0%
愛知県	5,991	4,050	3,724	4,535	3,947	87.0%
三重県	588	317	241	79	167	211.4%
中部圏	8,440	5,505	4,606	5,853	5,455	93.2%
滋賀県	1,107	1,034	388	431	596	138.3%
京都府	2,023	1,103	2,019	1,558	1,504	96.5%
大阪府	10,194	11,616	13,755	8,051	10,653	132.3%
兵庫県	6,198	3,007	5,153	4,528	4,434	97.9%
奈良県	1,043	259	293	226	669	296.0%
和歌山県	197	167	110		44	—
近畿圏	20,762	17,186	21,718	14,794	17,900	121.0%
鳥取県	135	75	16	54	40	74.1%
島根県	156	54	103		114	—
岡山県	356	527	472	719	590	82.1%
広島県	2,251	1,641	1,254	1,945	1,897	97.5%
山口県	254	239	377	391	751	192.1%
中国	3,152	2,536	2,222	3,109	3,392	109.1%
徳島県	258	218	72	125	110	88.0%
香川県	908	397	420	355	404	113.8%
愛媛県	311	441	352	255	276	108.2%
高知県	468	64	68	166	180	108.4%
四国	1,945	1,120	912	901	970	107.7%
福岡県	5,780	4,813	4,123	4,296	4,934	114.9%
佐賀県	202	49	63	200	178	89.0%
長崎県	429	584	209	418	464	111.0%
熊本県	639	609	205	420	745	177.4%
大分県	328	284	336	283	684	241.7%
宮崎県	210	228	79	105	288	274.3%
鹿児島県	555	788	176	492	466	94.7%
九州	8,143	7,355	5,191	6,214	7,759	124.9%
沖縄県	142	314	382	451	814	180.5%
全国	102,692	77,868	85,176	79,718	87,023	109.2%

●首都圏（1都3県）

首都圏の新規供給は46,168戸で前年比+1.5%と概ね前年並みに留まった。東日本大震災の影響で2011年に分譲戸数が急減した千葉県は2,887戸と+6.6%増加したが、2年連続して2,000戸台の供給に留まっている。埼玉県は3,785戸で-4.2%、神奈川県も10,571戸と10,000戸は超えたものの-4.9%の水準に縮小した。東京都のみ28,925戸で+4.4%増加と堅調に推移し、一極集中状況が浮き彫りになっている。

●近畿圏（2府4県）

近畿圏は17,900戸と2011年の14,794戸から+21.0%の大幅増を記録した。主な要因は大阪府での供給増である。2011年は8,051戸と1993年以来の10,000戸割れとなったが、2012年は10,653戸と+32.3%となって近畿圏の市場を牽引した。大阪市内で再開発による大型物件のマンション供給が相次ぎ、供給を押し上げた。ただし近畿圏全体の動きではなく大阪府のみに留まり、京都府では-3.5%の1,504戸、兵庫県でも-2.1%の4,434戸となっている。

●中部圏（東海4県）

中部圏は5,455戸と前年の5,853戸から-6.8%に留まった。2011年から増加したのは静岡県（+38.0%）と三重県（+111.4%）のみで、愛知県では-13.0%の大幅減を記録している。岐阜県でも142戸と約3分の1に減少した。愛知県では地元企業による供給が減少し、分譲大手が立地を絞り込んで供給するスタイルに変化しており、全域的な供給戸数の増加は見られなかった。